

盛岡 広域振興局長

提出者 東京海上日動火災保険株式会社  
住所 〒020-0026 盛岡市開運橋通5-1  
氏名 盛岡支店長 佐野 達哉

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策（変更）計画書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第82条第1項（第82条第2項）の規定により、次のとおり提出します。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	東京海上日動火災保険(株) 盛岡支店	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	盛岡市開運橋通5-1	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	kl	*施設番号	
自動車の使用台数	56 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置			
その他の地球温暖化の対策に関する事項			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
盛岡支店 業務チーム	〒020-0026 盛岡市開運橋通5-1 6F	kl
盛岡支店 自動車営業課	〒020-0026 盛岡市開運橋通5-1 5F	kl
盛岡支店 盛岡営業支社	〒020-0026 盛岡市開運橋通5-1 4F	kl

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に、記載してください。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載してください。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させてください。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。



2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合の記載欄

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
盛岡支店 岩手南支社	〒024-0061 北上市大通り2-12-4	kℓ
	〒	kℓ

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (R5年度)

自動車			二酸化炭素の排出	
燃料別	保有台数	(A)	排出係数 (B)	(A×B)
ガソリン	56 ( 21 )	24,239 ℓ	2.29 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	55,510 kg-CO <sub>2</sub>
軽油	( )	ℓ	2.62 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	kg-CO <sub>2</sub>
LPG	( )	kg	2.99 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>
電気		kWh	0.477 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	kg-CO <sub>2</sub>
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>
合計	56 ( 21 )			55,510 kg-CO <sub>2</sub>

備考1 保有台数欄の ( ) には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 二酸化炭素の排出の抑制のための措置

【目標値】

ガソリン使用量を2023年度 (R5年度) を基準として3年で4%削減する。

【具体的な取組】

○エコドライブ

- (1) 急発進、急加速の抑制
- (2) 適正なタイヤ空気圧の維持・点検

○輸送の合理化

- (1) 運行履歴記録をデータ化し効率的な運行に役立てる。

○電動車

- (1) 今年度買替予定の社有車50%をハイブリット車へ転換する。

○自動車利用抑制

- (1) 保有車両のライドシェアを推奨し、社有車を適正台数に削減する。

備考 主に次のことを記載してください。

- ・エコドライブの取組 (駐車時のエンジン停止、急発進や急加速の抑制等)
- ・輸送方法の合理化に関する取組
- ・電動車 (ハイブリッド自動車、電気自動車等) の導入
- ・輸送業務以外での自動車利用の抑制に係る取組

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

(1) 電力使用量の削減

- ① 空調の温度管理 (夏期28℃、冬期19℃) を極力励行する。
- ② エレベーターを設置している盛岡ビルにおいて、階段利用励行 (2アップ、3ダウン←2階上、3階下までは階段を使う)。

(2) コピー用紙使用量の削減

- ① ノートPCを使用し、会議をすべてペーパーレスとすることで、コピー用紙使用量の削減に取り組む。